

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「リアルポートⅢ レギュラー壁付タイプ」壁付斜め切詰めを行う際の、部材・部品および屋根材の加工要領について説明しています。本体の組立・施工については、本体に同梱の組立・施工説明書をご覧ください。
- 部材の切詰め・加工の際は、事前に部材の仮配置等を行い切箇所を確認してください。
- 本説明書は外観左側切詰めについて説明しています。外観右側切詰めの場合は、勝手違いに切詰め・加工を行ってください。
- 部材切断の際は、切断片の飛散にご注意ください。
- 水密材のかしめ部分を切断する場合は、水密材の縮みによる漏水を防止するため、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

**シーリングは必ず実施してください！**

- 「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。(別途手配品)

シーリングマーク

**注意**

母屋をまたいだ切詰めはできません。

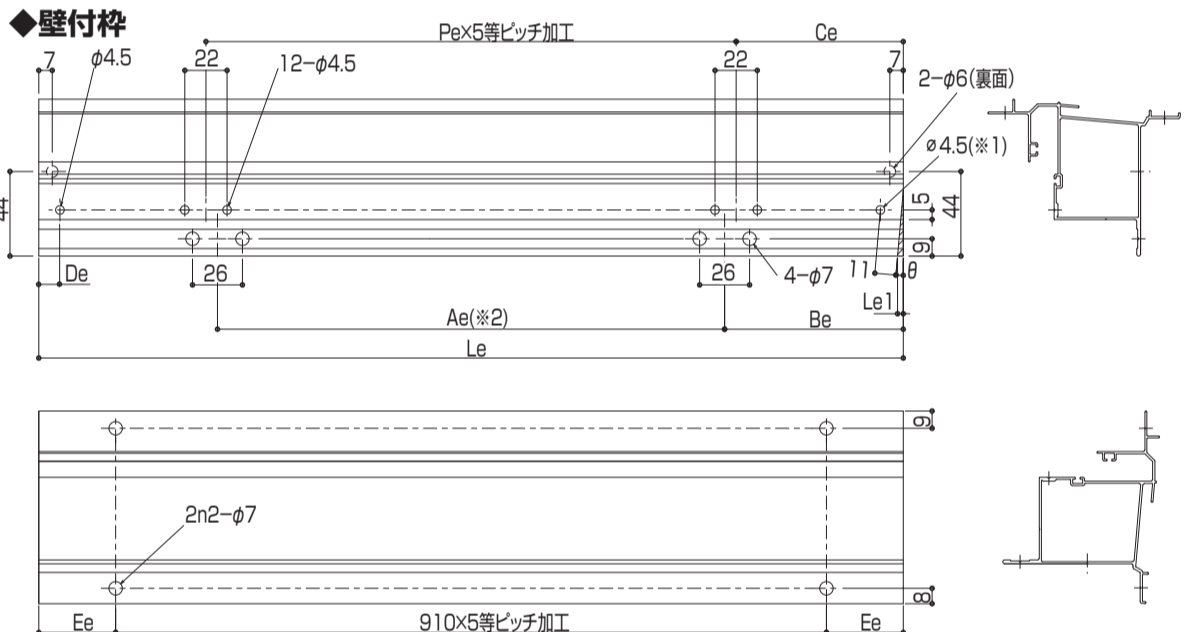
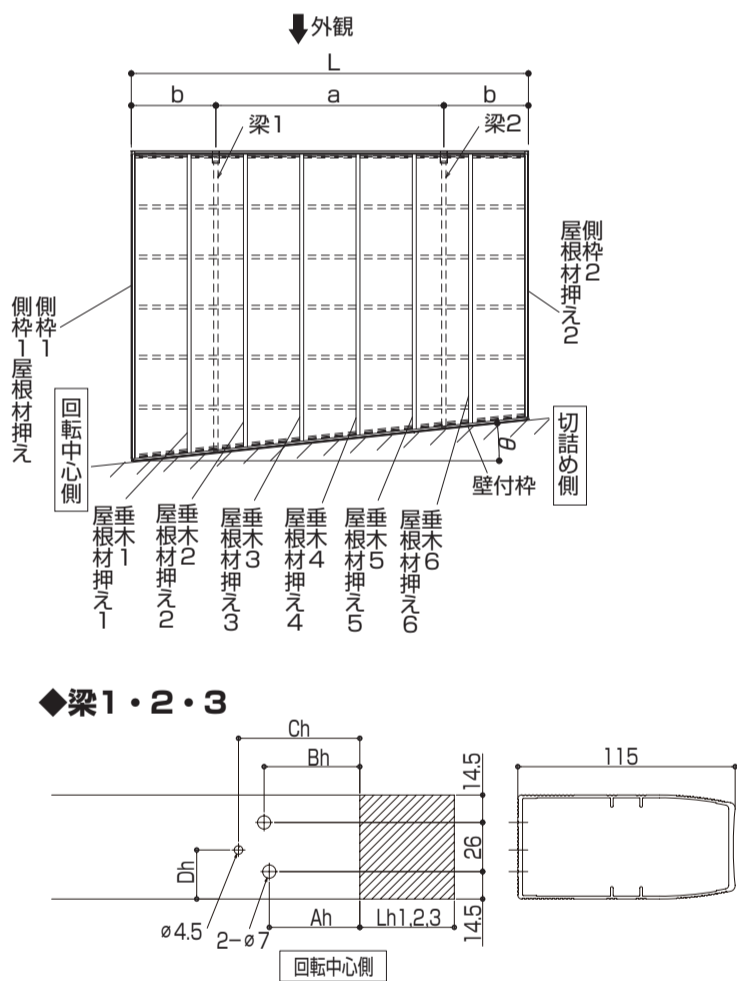
## 同梱内容

姿 図	部材		部品				
部材・部品名	壁付柱	バックアップ材	穴塞ぎシール (φ14)	皿木ねじ (φ3.8×40)	カラー	ワッシャ	座金組込コーチねじ (φ6×90)
品番	-	K-27652	K-40433	WF-3840	K-32761	K-6365	3K-15126
個数	1	1	12	2	2	2	12
備考		L=5200	壁付柱穴位置変更用	壁付柱仮固定用	壁付柱仮固定用	壁付柱仮固定用	壁付柱取付用

### ◆対応角度

	D30	D35 D39
θ	0°~5°	0°~6°

## 切詰め・加工要領 (単位: mm)



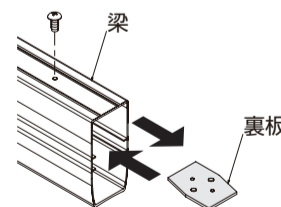
※1: 当該φ4.5穴以外は斜線部の切断前にケガいてください。  
 ※2: 柱移動した場合は、柱の移動分穴位置をずらしてください。

θ(度)	Le	Ce	De	Pe	Le1	Ee	Ae	Be
0	5012.0	716.0	11.0	716.0	0.0	231.0	2900.0	1056.0
1	5012.8	716.3	10.8	716.1	0.6	231.4	2900.4	1056.6
2	5015.1	716.8	10.7	716.4	1.2	232.5	2901.8	1057.5
3	5018.9	717.5	10.5	717.0	1.8	234.4	2904.0	1058.8
4	5024.2	718.4	10.3	717.7	2.4	237.1	2907.1	1060.3
5	5031.1	719.6	10.2	718.7	3.0	240.6	2911.1	1062.2
6	5039.6	721.0	10.0	719.9	3.6	244.8	2916.0	1064.4

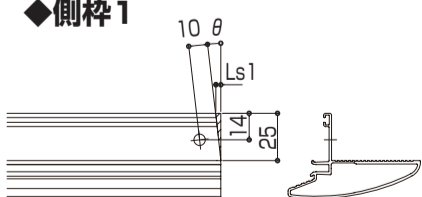
### ポイント

梁の壁付柱側端部には裏板が取付いています。

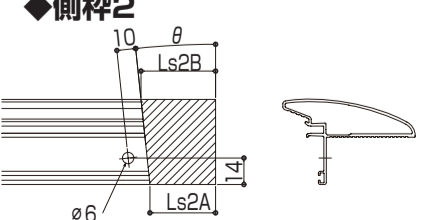
- ①梁切断前に裏板を取りはずしてください。
- ②切断・穴加工後は裏板を穴位置に合わせて再度取付けてください。



### ◆側柱1

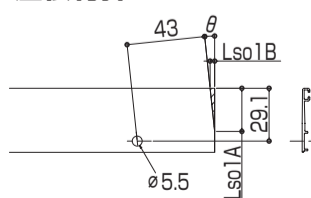


### ◆側柱2

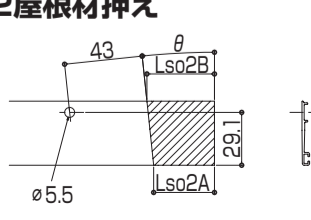


θ(度)	Ls1	Ls2A	Ls2B
0	0.0	0.0	0.0
1	0.4	87.0	87.8
2	0.9	174.1	175.7
3	1.3	261.4	263.7
4	1.7	348.7	351.9
5	2.2	436.3	440.2
6	2.6	524.2	528.9

### ◆側柱1屋根材押え

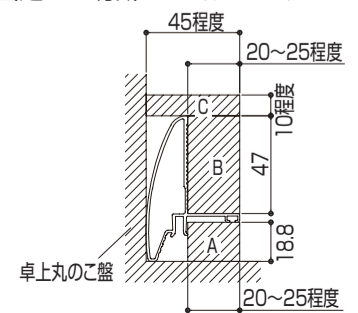


### ◆側柱2屋根材押え



θ(度)	Lso1A	Lso1B	Lso2A	Lso2B
0	25.0	0.0	0.0	0.0
1	24.8	0.4	87.0	87.7
2	24.7	0.9	174.1	175.4
3	24.5	1.3	261.3	263.2
4	24.4	1.7	348.7	351.1
5	24.2	2.1	436.2	439.3
6	24.1	2.5	524.1	527.8

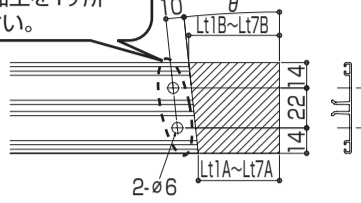
側柱を切断する際は、正確な角度で切断するために、下図のように木片や平板(A~C)等を利用し、部材を垂直に固定して切断してください。



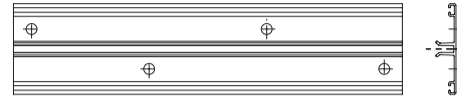
## 切詰め・加工要領 (単位: mm)

### ◆垂木1~6

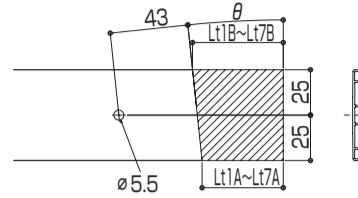
既存取付け穴と千鳥打ちとなる側に穴加工を1ヶ所行ってください。



### ●千鳥打ち



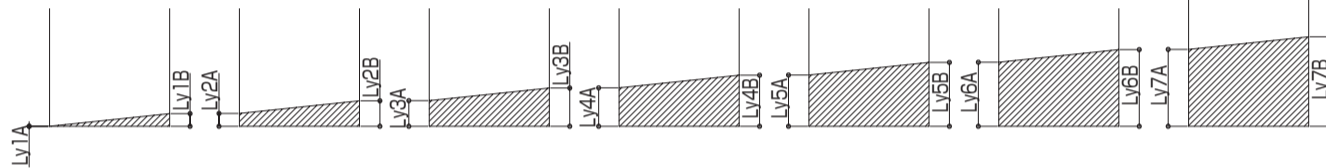
### ◆屋根材押え1~6



θ(度)	垂木1		垂木2		垂木3		垂木4		垂木5		垂木6	
	Lt1A	Lt1B	Lt2A	Lt2B	Lt3A	Lt3B	Lt4A	Lt4B	Lt5A	Lt5B	Lt6A	Lt6B
0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	12.1	12.9	24.6	25.4	37.1	37.9	49.6	50.4	62.1	62.9	74.6	75.4
2	24.1	25.9	49.1	50.9	74.1	75.9	99.1	100.9	124.1	125.9	149.1	150.9
3	36.2	38.8	73.7	76.4	111.3	113.9	148.8	151.4	186.3	188.9	223.8	226.5
4	48.3	51.8	98.4	101.9	148.5	152.0	198.5	202.0	248.6	252.1	298.7	302.2
5	60.5	64.8	123.1	127.5	185.7	190.1	248.4	252.8	311.0	315.4	373.7	378.0
6	72.6	77.9	147.9	153.1	223.1	228.4	298.4	303.6	373.6	378.9	448.9	454.2

### ◆屋根材

θ(度)	Ly1A	Ly1B	Ly2A	Ly2B	Ly3A	Ly3B	Ly4A	Ly4B	Ly5A	Ly5B	Ly6A	Ly6B	Ly7A	Ly7B
0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.13	12.4	12.6	24.9	25.1	37.3	37.6	49.8	50.1	62.3	62.6	74.8	75.1	87.3
2	0.26	24.7	25.3	49.7	50.3	74.7	75.3	99.7	100.3	124.7	125.3	149.7	150.3	174.7
3	0.37	37.1	37.9	74.6	75.4	112.1	112.9	149.6	150.5	187.2	188.0	224.7	225.5	262.2
4	0.48	49.4	50.5	99.5	100.6	149.6	150.7	199.6	200.7	249.7	250.8	299.8	300.9	349.8
5	0.57	61.8	63.2	124.5	125.9	187.1	188.5	249.7	251.1	312.4	313.8	375.0	376.4	437.7
6	0.66	74.2	75.9	149.5	151.2	224.7	226.4	300.0	301.7	375.3	376.9	450.5	452.2	525.8

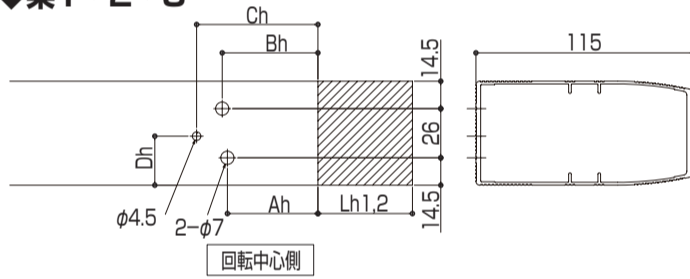
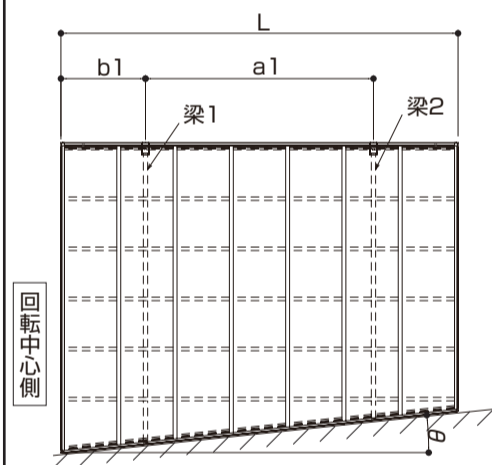


### ポイント

左図は太陽光のあたる面を上にした状態を示しています。

### 柱移動した場合

### ◆梁1・2・3



### 算出式

$$Lh1 = (b1 - 20) \times \tan \theta - 28.5 / \tan \theta + 28.5$$

$$Lh2 = (b1 + a1 - 20) \times \tan \theta - 28.5 / \tan \theta + 28.5$$

θ(度)	tan θ	cos θ
0	0	1
1	0.01746	0.99985
2	0.03492	0.99939
3	0.05241	0.99863
4	0.06993	0.99756
5	0.08749	0.99619
6	0.10510	0.99452

b1: 側枠端部~梁中心の距離  
a1: 柱ピッチ

$$Ah = 53.5 / \cos \theta - 13 \tan \theta$$

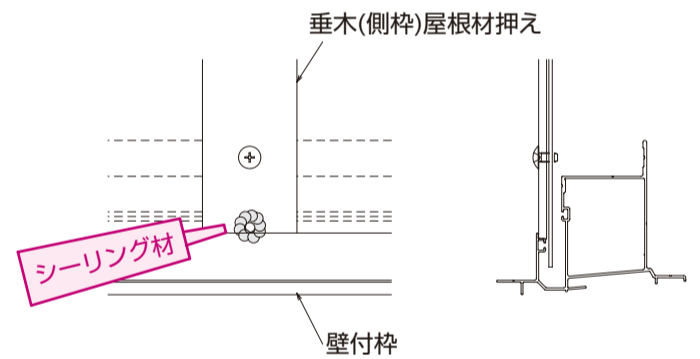
$$Bh = 53.5 / \cos \theta + 13 \tan \theta$$

$$Ch = 53.5 / \cos \theta + 15 \cos \theta$$

$$Dh = 27.5 - 15 \cos \theta \cdot \tan \theta$$

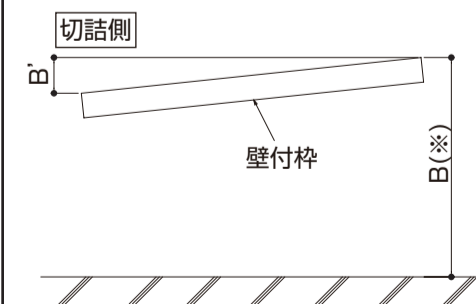
### シーリング時注意点

図のように垂木(側枠)屋根材押え材の既存の穴が部材接合部で重なる場合は、漏水を防ぐために穴の周囲を入念にシーリングしてください。



### 壁付枠取付時の注意

壁付枠は切詰め側の部材上部をB'低く取付けてください。



θ(度)	B'	呼称	B
0	0	D30	3025
1	1.5	D35	3075
2	6.1	D39	3119
3	13.8		
4	24.6		
5	38.5		
6	55.7		

(※)本体に同梱の組立・施工説明書「寸法図」参照